



新機能および変更された機能に関する情報

この章では、各リリースで追加または変更された情報と、その情報がこのマニュアルの中で記載されている場所を示します。

内容	説明	変更されたりリリース	参照先
『Cisco Nexus 1000V システム管理コンフィギュレーションガイド リリース 4.2(1)SV1(5.1)』には新しい情報は追加されていません			
仮想化ワークロード モビリティ (DC から DC vMotion へ)	この機能は、2つの物理データセンター間にある Cisco Nexus 1000 に対応します。	4.2(1)SV1(4a)	第 15 章「仮想化ワークロード モビリティ (DC から DC vMotion へ)」
DVS の削除	VSM への接続がない場合に vCenter Server から DVS を削除できます。	4.2(1)SV1(4a)	「サーバ接続の管理」
VSM バックアップ	両方の VSM が HA 環境で削除されている場合に VSM を復元できます。	4.2(1)SV1(4a)	「VSM バックアップとリカバリの設定」
NetFlow 機能のイネーブル化	NetFlow 機能をイネーブルまたはディセーブルにできます。	4.2(1)SV1(4)	「NetFlow の設定」
ローカル SPAN 送信元としてのポート プロファイルの追加	ローカル SPAN モニタ トラフィックの発信元としてポート プロファイルを指定できます。	4.2(1)SV1(4)	「ローカル SPAN および ERSPAN の設定」
ERSPAN 送信元としてのポート プロファイルの追加	ERSPAN のモニタ トラフィックの送信元としてポート プロファイルを指定できます。	4.2(1)SV1(4)	「ローカル SPAN および ERSPAN の設定」
ハードウェアの iSCSI マルチパス	マルチパスにハードウェアの iSCSI アダプタを使用できます。	4.2(1)SV1(4)	「iSCSI マルチパスの設定」
追加された SNMP MIB	サポートされている MIB のリスト。	4.2(1)SV1(4)	「MIB」
ネットワーク解析モジュール (NAM)	NetFlow データソースに対する NAM サポート	4.0(4)SV1(3)	「NetFlow の設定」
	ERSPAN データソースに対する NAM サポート	4.0(4)SV1(3)	「ローカル SPAN および ERSPAN の設定」
ERSPAN タイプ III ヘッダー	ERSPAN タイプ III の拡張された形式を持つヘッダー フレームにより、ネットワーク管理、侵入検出、合法的代行受信のサポートが強化されます。	4.0(4)SV1(3)	「ローカル SPAN および ERSPAN の設定」

内容	説明	変更されたり リリース	参照先
レイヤ 3 コントロール	VSM はレイヤ 3 でのアクセスが可能になり、別のレイヤ 2 ネットワークに存在するホストを制御できるようになります。	4.0(4)SV1(2)	「ドメインの設定」
iSCSI マルチパス	サーバとそのストレージ デバイスとの間に複数のルートをセットアップできるようになります。	4.0(4)SV1(2)	「iSCSI マルチパスの設定」
参考資料	Cisco Nexus 1000V の設定を行う前に読んでおくことが推奨される資料が記載されています。	4.0(4)SV1(2)	「はじめに」
設定の制限値	Cisco Nexus 1000V の設定の制限値が記載されています。	4.0(4)SV1(2)	「設定の制限値」